

2月の中小企業月次景況調査

〔令和2年2月末現在〕

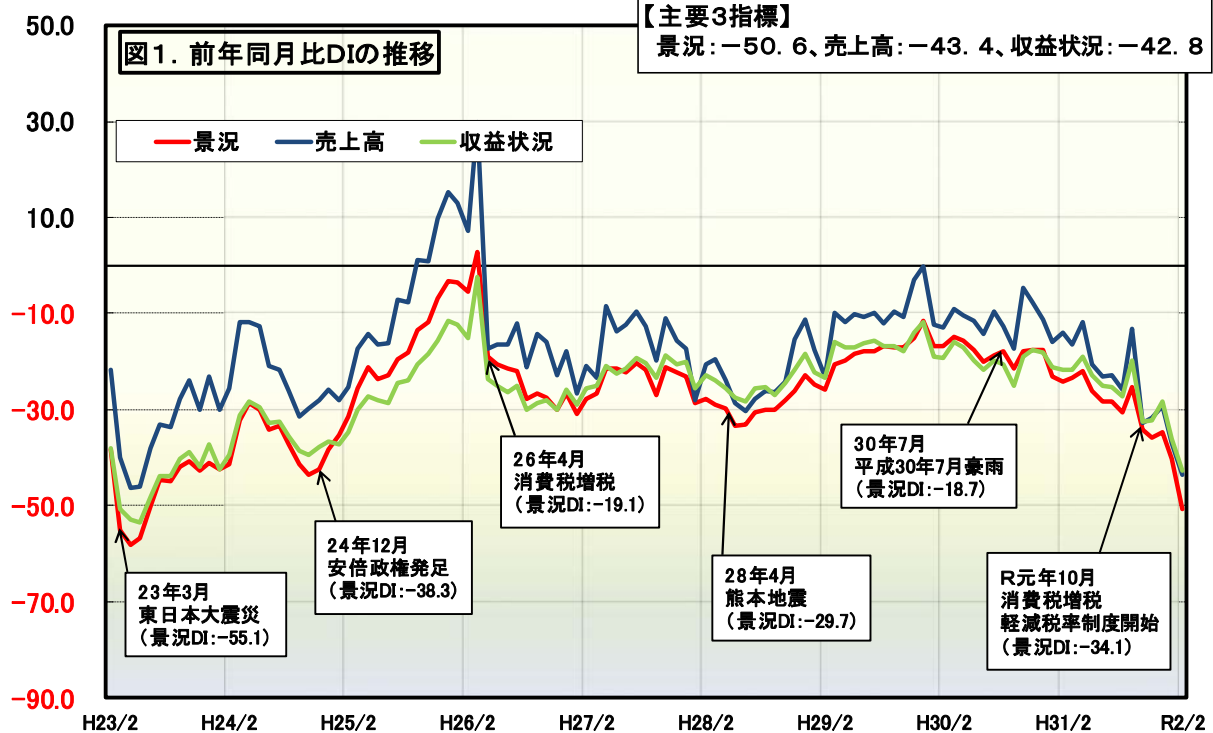


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和2年3月25日発表

◎2月のDIは全9指標中、8指標が悪化。

- 10月の消費増税後に悪化したDI水準が継続していたことに加え、新型コロナウイルス感染症の発生により、東日本大震災発生時と同レベルのDI水準となった。
- 2月末時点ではほとんどの業種のDIが悪く、多くの業種で、新型コロナウイルスの影響を受けていると言える。
- 資金繰りDIも悪化してきており、このまま長期化すると景気の悪化につながる恐れがあり、先行きを注視する必要がある。
- 業種を問わず、人手不足の影響も継続しており、受注・収益に留まらず、事業継続等にも大きな影響を与える懸念がある。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当：政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

2月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 2月のD Iは、全9指標8指標が悪化。主要3指標は、景況10.4ポイント悪化、売上高6.6ポイント悪化、収益状況6.8ポイント悪化した。
2. 主要3D Iについては、10月の消費増税後のD I水準を大きく下回り、東日本大震災発生時の水準に近づきつつあり、先行きの状況を注視していく必要がある。
3. 新型コロナウイルスの拡がりは収束が見えていないため、先行きへの対応の不安や見通しがつかないという心配のコメントが多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

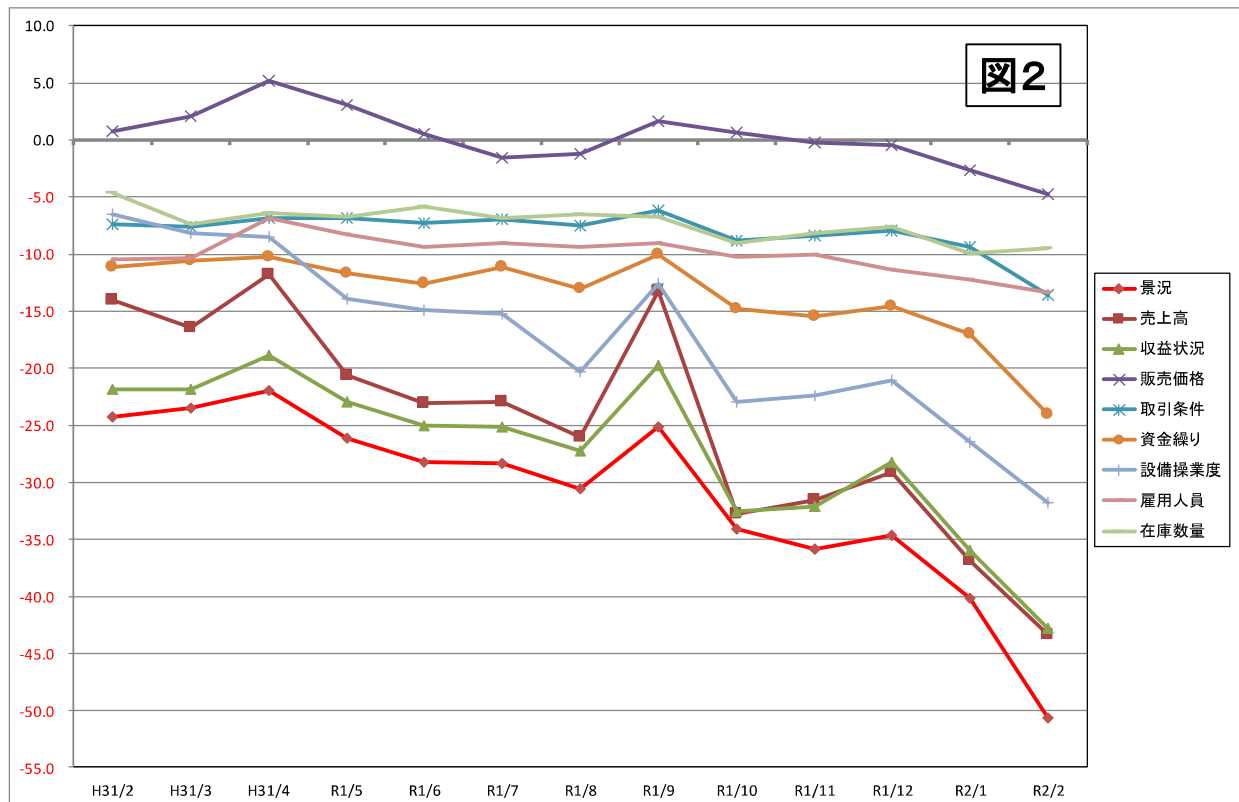


表1	H31 2月	3月	4月	R1 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2 1月	2月	前月比
景況	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-10.4
売上高	-14.0	-16.4	-11.8	-20.6	-23.1	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-6.6
収益状況	-21.8	-21.8	-18.9	-22.9	-25.0	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-6.8
販売価格	0.8	2.1	5.2	3.1	0.6	-1.5	-1.2	1.6	0.7	-0.2	-0.5	-2.6	-4.8	-2.2
取引条件	-7.4	-7.6	-6.9	-6.8	-7.3	-7.0	-7.5	-6.2	-8.8	-8.4	-8.0	-9.4	-13.6	-4.2
資金繰り	-11.1	-10.6	-10.3	-11.7	-12.6	-11.1	-13.0	-10.1	-14.8	-15.5	-14.6	-17.0	-24.1	-7.1
設備操業度	-6.5	-8.2	-8.5	-13.9	-14.9	-15.2	-20.3	-12.6	-22.9	-22.4	-21.1	-26.5	-31.8	-5.3
雇用人員	-10.5	-10.4	-6.8	-8.3	-9.4	-9.1	-9.4	-9.1	-10.3	-10.1	-11.4	-12.2	-13.4	-1.2
在庫数量	-4.6	-7.4	-6.4	-6.7	-5.9	-6.8	-6.5	-6.7	-9.1	-8.2	-7.6	-9.9	-9.5	0.4

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 全9指標中、8指標が悪化。消費増税後に悪化したD I水準を下回る状況となっている。
2. 業種を問わず、現状の先行きが予測できず、見通しを不安視するコメントも多い。新型コロナウイルスの影響は多くの業種に影響を及ぼしている。全国の情報連絡員の大多数より同影響について報告されており、影響の大きさを示している。
3. 日米貿易摩擦、台風等の自然災害、消費税引き上げ、今回の新型コロナウイルスの発生と中小企業者を取り巻く環境は大きく悪化している。
4. 中小企業の「働き方改革」への対応は、人の確保が課題であったことに加え、足元では学校休業等による従業員確保の問題も発生している。

《主な報告内容》

◇新型コロナウイルスの影響

- ・新型コロナウイルスの影響により外食向けの出荷量が低調となっている。小・中・高校の臨時休校により即席麺や菓子パンの需要が高まり、出荷量を伸ばしている組合員もいる。（東京都／製粉業）
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響は、中国生産予定商材の国内生産への振り替えの打診があるが、生産期間が短く単価が合わないため、要望に応えにくい。（秋田県／ニット製造業）
- ・年度末に向けて受注が増加していることに加えて、新型コロナウイルスの関係で海外の生産を国内生産に切り替えを検討する引き合いも多い。（山口県／外衣・シャツ製造業）
- ・この時期は需要が減るが、今年に関しては季節的要因で片づけられないほどここ2～3年で最大の落ち込みである。新型コロナウイルスの影響で中国に依存する住宅部材の不足で住宅建築が遅れている。（秋田県／製材業）
- ・世界的な感染症により、中国からの輸入に頼っている建築資材並びに金物等の物流の停滞により建設業界に工期遅延のシワ寄せを生じさせている。（和歌山県／建具製造業）
- ・コロナウイルスの影響で小売店からトイレットペーパー、ティッシュが欠品するほど売れているが、実際には在庫は十分あり一時的に需要が上がった状態になっている。（静岡県／紙・パルプ製造業）
- ・誤ったSNSによりトイレットペーパー等が店頭から消えている。マスクと違って、国内シェアが98%近くあり、原材料も国内で調達であり、在庫は十分にあり、供給不安はないと冷静な対応PRに努めている。（愛媛県／機械・すき和紙業）
- ・顧客の中国離れが進んでいる印象があり、国内回帰の話が散見されてきている。ただし、価格の相場が値崩れした状況での回帰もあり、国内企業は簡単には手を出せないと思われる。（島根県・プラスチック製品製造業）
- ・特に自動車産業や電機産業は今回の新型コロナウイルスの影響が大きい。中国の生産が止まるだけでなく物流がストップしたため、中国からの部品や製品が入らず困窮している企業もある。（京都府／金属プレス製品製造業）
- ・コロナウイルスによる旅行取り消しが急増し、資金繰り悪化が懸念される。2月28日現在の取り消し件数は、国内旅行、636件、18,528名、海外旅行、161件、1,613名、インバウンド71件、1,051名となった。（岐阜県／旅行業）
- ・3月中に新型コロナウイルス問題が解決しなければ、経営が厳しくなりそうで、パートタイム、従業員を休業させることも検討している。（秋田県／菓子製造業）
- ・新型コロナウイルスの影響で3月から学校が休みなので、各組合員の女性社員が出勤できるかが厳しい状況になっている。（熊本県／印刷業）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向
全体	▲ 40.2	▲ 50.6	▲ 10.4	悪化 ↘
製造業	▲ 43.4	▲ 52.4	▲ 9.0	悪化 ↘
非製造業	▲ 37.8	▲ 49.3	▲ 11.5	悪化 ↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし		
	5～10ポイント	なし		
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	食料品、紙・紙加工品、鉄鋼・金属、電気機器、その他の製造業、卸売業、小売業、商店街、サービス業、運輸業、その他の非製造業		
	5～10ポイント	繊維工業、木材・木製品、一般機器、建設業		

表2. 業種別【景 況】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	前月比
全 体	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-10.4
製 造 業	-26.0	-24.8	-24.3	-30.6	-33.7	-33.0	-36.0	-31.2	-35.2	-40.2	-39.8	-43.4	-52.4	-9.0
食料品	-33.5	-28.8	-24.7	-26.7	-35.2	-34.7	-31.5	-35.8	-33.5	-35.5	-29.0	-37.8	-52.2	-14.4
繊維工業	-36.2	-28.5	-35.8	-43.6	-45.7	-44.9	-48.0	-43.6	-47.2	-56.1	-55.9	-58.7	-67.0	-8.3
木材・木製品	-23.2	-26.3	-23.7	-27.8	-28.5	-23.5	-24.8	-20.0	-32.5	-38.0	-45.1	-42.4	-51.3	-8.9
紙・紙加工品	-45.5	-46.2	-31.9	-42.8	-30.5	-35.0	-50.0	-9.5	-20.9	-39.1	-29.2	-43.5	-58.3	-14.8
印刷	-52.5	-37.7	-43.6	-47.6	-47.6	-50.0	-53.2	-30.6	-40.3	-41.9	-42.7	-47.6	-50.0	-2.4
化学・ゴム	-20.7	-35.5	-44.8	-39.3	-44.8	-35.7	-34.5	-40.0	-44.9	-48.3	-42.8	-55.2	-58.6	-3.4
窯業・土石製品	-18.8	-17.9	-10.5	-19.8	-22.0	-20.5	-28.5	-19.9	-18.9	-24.1	-22.6	-23.9	-26.2	-2.3
鉄鋼・金属	-12.1	-13.1	-15.4	-26.6	-34.8	-31.7	-36.7	-37.7	-38.9	-40.5	-43.5	-43.8	-54.3	-10.5
一般機器	-13.3	-16.3	-20.4	-28.5	-30.3	-36.3	-42.3	-38.9	-42.8	-48.2	-52.7	-52.6	-61.4	-8.8
電気機器	-9.4	-13.3	-17.2	-23.3	-26.6	-20.0	-38.0	-16.1	-34.5	-31.0	-21.4	-35.7	-46.4	-10.7
輸送機器	-17.1	-19.0	-16.6	-22.0	-22.0	-23.8	-28.6	-29.2	-38.1	-42.9	-42.9	-46.3	-47.6	-1.3
その他の製造業	-45.1	-41.5	-39.2	-45.3	-37.0	-39.6	-33.3	-19.7	-28.9	-44.4	-44.4	-49.0	-66.6	-17.6
非 製 造 業	-23.0	-22.5	-20.2	-22.8	-24.1	-24.9	-26.4	-20.7	-33.1	-32.6	-30.7	-37.8	-49.3	-11.5
卸 売 業	-38.1	-33.7	-29.6	-35.0	-36.1	-35.4	-39.5	-40.5	-47.9	-45.2	-43.2	-53.2	-63.7	-10.5
小 売 業	-37.0	-36.3	-31.6	-28.9	-32.7	-36.2	-37.3	-22.1	-44.7	-48.4	-39.4	-47.3	-59.4	-12.1
商 店 街	-34.2	-31.1	-32.5	-37.3	-38.1	-38.9	-38.8	-30.6	-47.2	-39.3	-37.5	-52.1	-64.8	-12.7
サ ー ビ ス 業	-6.4	-10.8	-6.8	-11.1	-14.0	-13.8	-17.9	-13.1	-26.7	-23.6	-25.9	-31.6	-45.2	-13.6
建 設 業	-2.5	-3.3	-4.2	-5.8	-5.4	-5.0	-2.9	-3.3	-4.6	-7.0	-6.2	-7.9	-14.8	-6.9
運 輸 業	-26.3	-20.0	-19.7	-27.1	-26.6	-23.9	-26.4	-23.3	-32.5	-32.6	-39.1	-43.4	-57.0	-13.6
その他の非製造業	0.0	-14.3	-11.1	-11.1	3.6	-11.6	-10.7	-3.7	-10.7	-13.8	-10.7	-13.8	-27.6	-13.8

Pick up!

「卸売業」：新型コロナウイルスの影響から、飲食店やホテル、学校等への納入が減少し、景況D I は前月比10.5ポイント悪化。

「商店街」：新型コロナウイルスの影響からインバウンド需要に加え、国内需要も減少している。景況D I は前月比12.7ポイント悪化。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 36.8	▲ 43.4	▲ 6.6	悪化	↘
製造業	▲ 38.5	▲ 43.7	▲ 5.2	悪化	↘
非製造業	▲ 35.5	▲ 43.2	▲ 7.7	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	なし			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	食料品、紙・紙加工品、輸送機器、商店街、サービス業			
	5～10ポイント	印刷、化学・ゴム、鉄鋼・金属、一般機器、電気機器、その他の製造業、非製造業、運輸業			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	前月比
全 体	-14.0	-16.4	-11.8	-20.6	-23.1	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-6.6
製 造 業	-12.1	-15.5	-13.1	-23.2	-25.2	-22.1	-29.5	-17.1	-31.3	-33.9	-32.8	-38.5	-43.7	-5.2
食料品	-23.3	-22.0	-6.7	-18.6	-32.7	-28.1	-24.0	-23.9	-23.5	-26.0	-21.0	-35.8	-47.7	-11.9
繊維工業	-28.4	-24.4	-25.0	-33.4	-37.8	-36.2	-41.7	-27.0	-42.5	-53.9	-48.8	-58.7	-56.1	2.6
木材・木製品	-12.9	-16.9	-14.9	-25.3	-14.6	-5.2	-17.7	-10.5	-44.8	-27.4	-38.1	-42.5	-39.0	3.5
紙・紙加工品	0.0	-23.1	-9.1	-19.1	-30.4	-30.0	-45.0	0.0	-4.2	-26.1	-50.0	-21.8	-37.5	-15.7
印刷	-37.3	-23.2	-12.9	-42.6	-31.8	-32.3	-33.9	3.2	-29.0	-40.3	-31.1	-34.4	-43.3	-8.9
化学・ゴム	3.4	-16.1	-27.6	-32.1	-20.7	-17.8	-20.7	-3.3	-34.5	-38.0	-35.7	-34.5	-41.4	-6.9
窯業・土石製品	0.7	-2.4	-7.5	-19.8	-19.1	-8.1	-35.0	-5.9	-22.7	-24.1	-16.8	-18.7	-19.0	-0.3
鉄鋼・金属	3.5	-7.3	-8.8	-20.9	-19.5	-23.7	-25.9	-25.3	-30.2	-38.3	-37.7	-40.2	-49.3	-9.1
一般機器	-3.5	-10.6	-15.1	-9.9	-19.6	-17.7	-33.3	-24.8	-36.4	-34.8	-42.0	-43.0	-49.1	-6.1
電気機器	12.5	0.0	3.5	-16.7	-13.3	-20.0	-24.1	-3.2	-24.1	-20.7	-14.3	-25.0	-32.1	-7.1
輸送機器	4.9	-11.9	-7.1	-7.3	-17.0	-16.7	-23.9	-29.3	-33.3	-45.2	-40.5	-29.2	-40.5	-11.3
その他の製造業	-33.3	-32.1	-37.2	-49.0	-42.5	-32.1	-31.4	-19.6	-40.4	-42.6	-35.2	-54.9	-61.1	-6.2
非 製 造 業	-15.6	-17.0	-10.8	-18.5	-21.5	-23.6	-23.2	-10.3	-33.9	-29.7	-26.3	-35.5	-43.2	-7.7
卸 売 業	-24.4	-32.7	-8.4	-33.7	-37.9	-36.3	-41.4	-24.4	-45.5	-39.6	-40.4	-53.7	-57.7	-4.0
小 売 業	-36.1	-36.2	-20.6	-22.8	-31.6	-40.6	-36.1	-9.7	-54.7	-45.7	-36.0	-47.9	-49.7	-1.8
商 店 街	-24.8	-20.5	-24.6	-26.1	-35.6	-32.1	-24.4	-10.0	-44.7	-41.1	-30.0	-43.6	-59.8	-16.2
サ ー ビ ス 業	2.5	-1.8	5.4	-0.4	-7.1	-6.8	-10.9	-2.5	-29.2	-19.4	-23.1	-22.3	-38.1	-15.8
建 設 業	0.0	-1.7	-12.8	-12.9	-2.5	-5.8	-4.5	-5.4	0.9	-8.3	-2.5	-7.5	-12.4	-4.9
運 輸 業	-10.1	-0.8	-6.3	-25.6	-22.7	-21.5	-24.1	-18.6	-28.7	-26.4	-34.4	-48.8	-58.6	-9.8
その他の非製造業	18.5	0.0	3.7	-3.7	3.6	0.0	-3.6	11.1	3.6	3.5	21.5	-10.3	-6.9	3.4

Pick up!

「輸送機器」：新型コロナウイルスの影響から中国からの材料の供給が難しくなり、自動車関連業者は売上減少。売上高DIは前月比11.3ポイント悪化。先行きの不透明感も強い。

「運輸業」：物流は停滞し、荷動きが鈍い。個人の外出抑制等からタクシー等の利用も減り、売上高DIは前月比9.8ポイント悪化。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 36.0	▲ 42.8	▲ 6.8	悪化	↘
製造業	▲ 37.1	▲ 41.4	▲ 4.3	悪化	↘
非製造業	▲ 35.1	▲ 43.9	▲ 8.8	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	輸送機器			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム、電気機器、その他の製造業、小売業、 商店街、サービス業、運輸業			
	5～10ポイント	食料品、木材・木製品、鉄鋼・金属、 その他の非製造業			

表4. 業種別【収益状況】D Iの推移（前年同月比）

業 種 名	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	前月比
全 体	-21.8	-21.8	-18.9	-22.9	-25.0	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-6.8
製 造 業	-24.2	-22.1	-20.4	-25.6	-27.8	-26.6	-30.9	-24.5	-31.1	-35.6	-31.0	-37.1	-41.4	-4.3
食料品	-28.4	-25.1	-19.6	-23.7	-35.7	-35.7	-30.5	-31.8	-27.5	-35.0	-24.0	-34.8	-41.8	-7.0
繊維工業	-32.3	-19.5	-32.5	-35.7	-39.4	-38.5	-42.6	-40.4	-42.5	-50.8	-45.7	-48.4	-50.0	-1.6
木材・木製品	-25.9	-24.6	-23.7	-35.7	-17.3	-16.6	-26.5	-16.5	-31.6	-38.1	-34.5	-39.8	-46.0	-6.2
紙・紙加工品	-59.1	-50.0	-31.8	-42.8	-39.2	-45.0	-50.0	-4.8	-8.4	-26.1	-25.0	-43.5	-41.6	1.9
印刷	-47.5	-36.3	-27.4	-45.9	-47.6	-42.0	-54.9	-25.8	-45.2	-40.4	-31.1	-41.0	-41.7	-0.7
化学・ゴム	-34.5	-38.7	-37.9	-39.3	-34.5	-28.5	-27.6	-36.7	-41.4	-48.3	-21.5	-34.5	-44.8	-10.3
窯業・土石製品	-16.0	-14.1	-7.5	-15.4	-17.6	-8.9	-27.0	-15.4	-17.5	-17.5	-16.1	-21.6	-19.8	1.8
鉄鋼・金属	-10.7	-13.0	-14.6	-15.9	-21.7	-23.1	-23.0	-24.6	-28.8	-36.2	-32.6	-37.2	-43.6	-6.4
一般機器	-14.2	-21.2	-17.7	-17.0	-21.5	-25.6	-29.7	-21.3	-30.0	-35.7	-40.2	-45.6	-46.5	-0.9
電気機器	-3.1	0.0	-6.9	-10.0	-13.3	-13.3	-27.6	0.0	-27.6	-10.4	-17.9	-7.1	-35.7	-28.6
輸送機器	-19.5	-21.4	-23.8	-22.0	-26.8	-31.0	-35.7	-43.9	-50.0	-50.0	-47.6	-46.3	-40.4	5.9
その他の製造業	-35.3	-28.3	-25.5	-30.2	-25.9	-20.7	-13.0	-7.1	-34.6	-33.3	-31.5	-37.2	-50.0	-12.8
非 製 造 業	-19.9	-21.5	-17.7	-20.8	-23.0	-24.0	-24.5	-15.9	-33.7	-29.6	-26.3	-35.1	-43.9	-8.8
卸 売 業	-28.1	-28.5	-21.6	-31.4	-31.1	-32.1	-38.2	-32.8	-40.8	-39.6	-39.1	-47.6	-48.3	-0.7
小 売 業	-31.6	-37.8	-26.5	-27.2	-31.9	-38.5	-33.7	-17.5	-46.2	-43.4	-40.4	-47.3	-57.9	-10.6
商 店 街	-26.1	-24.3	-25.8	-32.3	-33.1	-32.7	-28.1	-20.6	-42.8	-37.4	-28.1	-43.6	-58.6	-15.0
サ ー ビ ス 業	-5.7	-7.5	-6.5	-3.9	-9.4	-12.5	-19.0	-6.1	-33.5	-18.8	-17.4	-25.9	-41.6	-15.7
建 設 業	-10.4	-7.5	-8.0	-9.6	-11.2	-7.9	-7.1	-5.3	-10.0	-11.1	-4.6	-12.1	-12.8	-0.7
運 輸 業	-19.4	-20.7	-22.1	-29.4	-27.4	-20.0	-20.9	-21.7	-29.5	-27.1	-31.2	-40.3	-50.7	-10.4
その他の非製造業	-3.7	-14.3	-7.4	-22.2	-10.7	-7.7	-7.2	-3.7	-3.6	-17.2	0.0	-10.4	-17.3	-6.9

Pick up!

「電気機器」：新型コロナウイルスの影響から、中国からの材料仕入れがストップする等により生産が停滞し、売上減少により収益悪化。収益状況D Iは前月比28.6ポイント悪化。

「小売業」：外出抑制等の動きから、消費者の購買機会が減少し、収益の悪化に繋がった。収益状況D Iは前月比10.6ポイント悪化。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 17.0	▲ 24.1	▲ 7.1	悪化	↘
製造業	▲ 16.3	▲ 21.7	▲ 5.4	悪化	↘
非製造業	▲ 17.5	▲ 26.1	▲ 8.6	悪化	↘
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 2.6	▲ 4.8	▲ 2.2	悪化	↘
製造業	▲ 2.5	▲ 1.7	0.8	上昇	↗
非製造業	▲ 2.7	▲ 7.2	▲ 4.5	悪化	↘
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.4	▲ 13.6	▲ 4.2	悪化	↘
製造業	▲ 8.2	▲ 9.3	▲ 1.1	悪化	↘
非製造業	▲ 10.2	▲ 16.9	▲ 6.7	悪化	↘
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 26.5	▲ 31.8	▲ 5.3	悪化	↘
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 12.2	▲ 13.4	▲ 1.2	悪化	↘
製造業	▲ 8.1	▲ 10.0	▲ 1.9	悪化	↘
非製造業	▲ 15.2	▲ 16.1	▲ 0.9	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.9	▲ 9.5	0.4	上昇	↗
製造業	▲ 8.5	▲ 6.7	1.8	上昇	↗
非製造業	▲ 12.0	▲ 13.7	▲ 1.7	悪化	↘

Calendar 2020

～～ 国内外の主なトピックス（令和2年3月）～～

3月6日（金）

1月の景気動向指数景気：内閣府。基調判断は6か月連続で悪化。悪化の判断が6か月連続で続いたのはリーマンショック以来。

3月9日（月）

2月の景気ウォッチャー調査：内閣府。景気の現状判断指数は27.4となり、前月から14.5ポイントの大幅ダウン。

3月10日（火）

工作機械受注額：日本機械工作工業会。2月の工作機械受注額（速報値）は前年同月比30.1%減の767億円で10年ぶりの低水準。

3月16日（月）

金融政策決定会合：日本銀行。3年8か月ぶりの追加緩和策を決定。

3月26日（木）

2月の月例経済報告発表予定

3月31日（火）

2月の失業率・有効求人倍率発表予定。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和2年2月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全	体	-43.4	-42.8	-4.8	-13.6	-24.1	-31.8	-13.4	-9.5
製	造 業	-43.7	-41.4	-1.7	-9.3	-21.7	-31.8	-10.0	-6.7
非	製 造 業	-43.2	-43.9	-7.2	-16.9	-26.1		-16.1	-13.7

(製造業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-52.2	-47.7	-41.8	2.0	-7.5	-27.4	-24.9	-13.4	-1.5
繊維工業	-67.0	-56.1	-50.0	-10.0	-19.3	-39.2	-41.5	-16.9	-13.1
木材・木製品	-51.3	-39.0	-46.0	-7.1	-11.5	-23.9	-29.2	-10.6	-8.0
紙・紙加工品	-58.3	-37.5	-41.6	16.6	0.0	-29.2	-50.0	-4.1	12.5
印刷	-50.0	-43.3	-41.7	-11.7	-18.3	-23.4	-31.6	-26.7	-8.3
化学・ゴム	-58.6	-41.4	-44.8	-3.5	0.0	-24.1	-31.0	0.0	6.9
窯業・土石製品	-26.2	-19.0	-19.8	19.7	-3.6	-4.4	-8.1	-7.3	-2.9
鉄鋼・金属	-54.3	-49.3	-43.6	-5.7	-3.6	-10.0	-42.8	-2.2	-5.0
一般機器	-61.4	-49.1	-46.5	-3.5	-9.6	-21.1	-44.7	-1.7	-9.7
電気機器	-46.4	-32.1	-35.7	-14.3	-7.1	-10.8	-39.3	-7.2	-14.3
輸送機器	-47.6	-40.5	-40.4	-14.3	-14.3	-19.0	-31.0	-11.9	-11.9
その他の製造業	-66.6	-61.1	-50.0	-5.5	-13.0	-29.6	-33.3	-13.0	-22.2

(非製造業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-63.7	-57.7	-48.3	-15.3	-22.3	-27.9		-13.9	-14.4
小 売 業	-59.4	-49.7	-57.9	-12.3	-22.1	-32.3		-19.1	-12.0
商店街	-64.8	-59.8	-58.6	-6.2	-20.4	-41.4		-12.4	-16.0
サービス業	-45.2	-38.1	-41.6	-9.3	-17.8	-29.2		-17.4	
建設業	-14.8	-12.4	-12.8	1.7	-7.9	-6.2		-11.6	
運輸業	-57.0	-58.6	-50.7	5.4	-8.6	-21.9		-25.7	
	-27.6	-6.9	-17.3	-3.4	0.0	-6.9		3.5	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 2年 2月 末現在)
(単位: %)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	製造業	2.2	45.0	52.8	10.6	35.4	54.0	4.5	48.2	47.3	8.6	78.0	13.4	0.9	84.6	14.5	1.7	72.5	25.8	5.0	58.1	36.8	3.2	80.1	16.6	11.2	68.0	20.7
	非製造業	1.6	47.5	50.9	10.4	36.0	53.6	4.2	47.7	48.1	9.6	73.6	16.8	0.6	81.8	17.5	1.1	71.7	27.2	0.0	0.0	0.0	1.9	80.1	18.0	10.6	65.1	24.3

(製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	繊維工業	3.5	40.8	55.7	9.5	33.3	57.2	4.5	49.3	48.3	7.5	87.1	5.5	0.0	92.5	7.5	1.5	69.7	28.9	5.0	65.2	29.9	2.5	81.6	15.9	14.9	68.7	16.4
	木材・木製品	2.7	43.4	54.0	8.8	43.4	47.8	4.4	45.1	50.4	8.8	75.2	15.9	0.0	88.5	11.5	0.0	76.1	23.9	0.9	69.0	30.1	6.2	77.0	16.8	15.9	60.2	23.9
紙・紙加工品	印刷	4.2	33.3	62.5	20.8	20.8	58.3	4.2	50.0	45.8	20.8	75.0	4.2	4.2	91.7	4.2	0.0	70.8	29.2	4.2	41.7	54.2	4.2	87.5	8.3	25.0	62.5	12.5
	化学・ゴム	3.3	43.3	53.3	6.7	43.3	50.0	5.0	48.3	46.7	3.3	81.7	15.0	1.7	78.3	20.0	3.3	70.0	26.7	6.7	55.0	38.3	3.3	66.7	30.0	5.0	81.7	13.3
窯業・土石製品	鉄鋼・金属	0.0	41.4	58.6	10.3	37.9	51.7	0.0	55.2	44.8	3.4	89.7	6.9	3.4	93.1	3.4	0.0	75.9	24.1	6.9	55.2	37.9	10.3	79.3	10.3	24.1	58.6	17.2
	一般機器	8.8	56.2	35.0	24.1	32.8	43.1	10.9	58.4	30.7	21.2	77.4	1.5	2.2	92.0	5.8	8.0	79.6	12.4	13.1	65.7	21.2	4.4	83.9	11.7	8.0	81.0	10.9
電気機器	輸送機器	0.7	44.3	55.0	8.6	33.6	57.9	5.0	46.4	48.6	3.6	87.1	9.3	1.4	93.6	5.0	2.1	85.7	12.1	4.3	48.6	47.1	5.7	86.4	7.9	8.6	77.9	13.6
	その他の製造業	0.0	38.6	61.4	7.9	35.1	57.0	2.6	48.2	49.1	1.8	93.0	5.3	0.9	88.6	10.5	2.6	73.7	23.7	3.5	48.2	48.2	7.9	82.5	9.6	9.6	71.1	19.3
その他の製造業	電気機器	3.6	46.4	50.0	17.9	32.1	50.0	10.7	42.9	46.4	3.6	78.6	17.9	3.6	85.7	10.7	7.1	75.0	17.9	3.6	53.6	42.9	7.1	78.6	14.3	14.3	57.1	28.6
	輸送機器	2.4	47.6	50.0	11.9	35.7	52.4	4.8	50.0	45.2	0.0	85.7	14.3	2.4	81.0	16.7	0.0	81.0	19.0	7.1	54.8	38.1	11.9	64.3	23.8	7.1	73.8	19.0
その他の製造業	その他の製造業	1.9	29.6	68.5	5.6	27.8	66.7	1.9	46.3	51.9	5.6	83.3	11.1	0.0	87.0	13.0	1.9	66.7	31.5	0.0	66.7	33.3	3.7	79.6	16.7	7.4	63.0	29.6

(非製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	小 売 業	0.5	35.3	64.2	6.5	29.3	64.2	4.7	42.3	53.0	10.7	63.3	26.0	0.5	76.7	22.8	0.0	72.1	27.9				1.4	83.3	15.3	9.8	66.0	24.2
	商店街	1.2	38.2	60.6	12.4	25.6	62.1	2.1	37.9	60.0	12.4	62.9	24.7	0.3	77.4	22.4	1.2	65.3	33.5				1.2	78.5	20.3	11.8	64.4	23.8
サービス業	建設業	0.6	34.0	65.4	6.2	27.8	66.0	3.7	34.0	62.3	7.4	79.0	13.6	0.0	79.6	20.4	0.0	58.6	41.4				1.2	85.2	13.6	9.3	65.4	25.3
	運輸業	1.8	51.2	47.0	11.4	39.1	49.5	5.7	47.0	47.3	7.8	75.1	17.1	1.8	78.6	19.6	1.4	68.0	30.6				2.5	77.6	19.9			
その他の非製造業	建設業	5.0	75.2	19.8	14.9	57.9	27.3	6.6	74.0	19.4	7.9	86.0	6.2	0.4	91.3	8.3	3.3	87.2	9.5				2.9	82.6	14.5			
	運輸業	0.0	43.0	57.0	4.7	32.0	63.3	1.6	46.1	52.3	10.9	83.6	5.5	0.0	91.4	8.6	0.0	78.1	21.9				1.6	71.1	27.3			
その他の非製造業	その他の非製造業	0.0	72.4	27.6	17.2	58.6	24.1	3.4	75.9	20.7	6.9	82.8	10.3	3.4	93.1	3.4	0.0	93.1	6.9				6.9	89.7	3.4			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

令和 2年 2月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種								
全 体	2.2	45.0	52.8	10.6	35.4 54.0	4.5	48.2 47.3	-42.8
製 造 業	2.9	41.8	55.3	10.8	34.7 54.5	4.9	48.9 46.3	-41.4
非製造業	1.6	47.5	50.9	10.4	36.0 53.6	4.2	47.7 48.1	-43.9

〔近畿地方〕

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	1.1	41.4	57.5	9.9	36.6 53.5	-43.6	2.9	45.8 51.3
製 造 業	1.5	35.6	62.9	12.1	30.3 57.6	-45.5	3.0	41.7 55.3
非製造業	0.7	46.8	52.5	7.8	42.6 49.6	-41.8	2.8	49.6 47.5

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	3.2	43.4	53.4	10.5	32.9 56.6	-46.1	3.8	48.8 47.4
製 造 業	5.2	40.3	54.5	10.4	36.6 53.0	-42.6	4.5	51.5 44.0
非製造業	2.1	45.1	52.7	10.5	30.8 58.6	-48.1	3.4	47.3 49.4

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

〔中国地方〕

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	1.2	50.0	48.8	16.7	31.3 52.0	-35.3	6.5	51.6 41.9
製 造 業	0.0	53.0	47.0	14.8	32.2 53.0	-38.2	4.3	55.7 40.0
非製造業	2.3	47.3	50.4	18.3	30.5 51.1	-32.8	8.4	48.1 43.5

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	2.8	47.4	49.8	9.8	37.4 52.8	-43.0	4.7	48.6 46.7
製 造 業	4.1	46.1	49.8	10.9	37.1 52.1	-41.2	6.4	49.1 44.6
非製造業	1.9	48.3	49.9	9.1	37.6 53.3	-44.2	3.5	48.3 48.3

〔四国地方〕

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	5.2	46.6	48.3	11.5	36.8 51.7	-40.2	5.2	50.6 44.3
製 造 業	7.5	46.3	46.3	12.5	42.5 45.0	-32.5	3.8	61.3 35.0
非製造業	3.2	46.8	50.0	10.6	31.9 57.4	-46.8	6.4	41.5 52.1

〔東海・北陸地方〕

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県

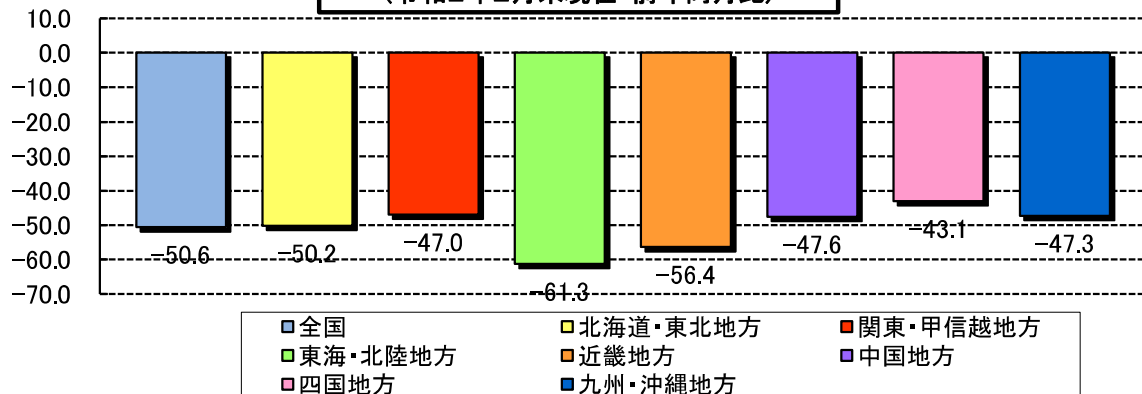
項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	0.8	37.1	62.1	6.9	33.2 59.8	-52.9	2.8	41.2 56.0
製 造 業	0.5	31.6	67.9	6.1	29.6 64.3	-58.2	3.1	38.8 58.2
非製造業	1.0	42.6	56.4	7.7	36.9 55.4	-47.7	2.6	43.6 53.8

〔九州・沖縄地方〕

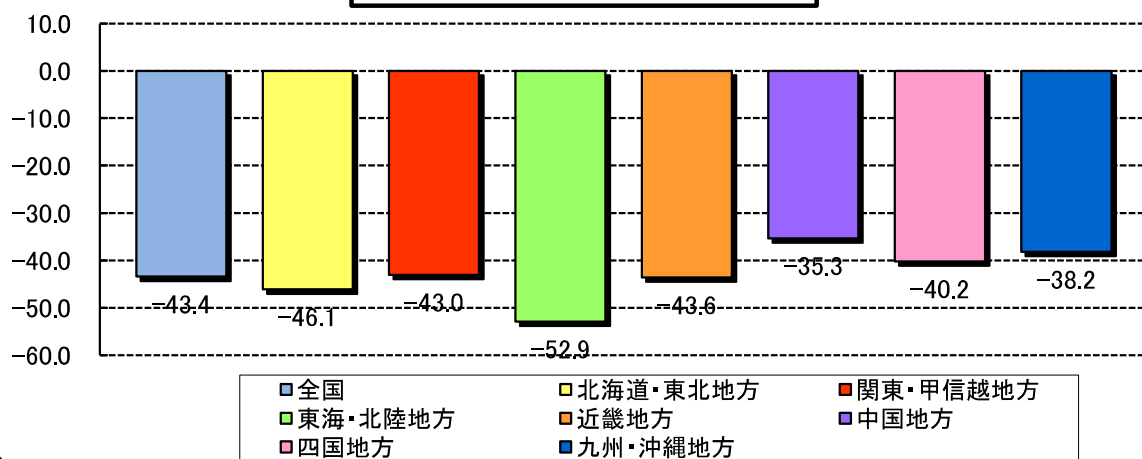
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

項 目	業界の景況			売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変 減少	DI	好転	不変 悪化
業 種								
全 体	1.6	49.5	48.9	11.8	38.2 50.0	-38.2	5.9	53.0 41.1
製 造 業	2.7	43.2	54.1	12.2	37.2 50.7	-38.5	7.4	54.1 38.5
非製造業	0.9	53.6	45.5	11.6	38.8 49.6	-38.0	4.9	52.2 42.9

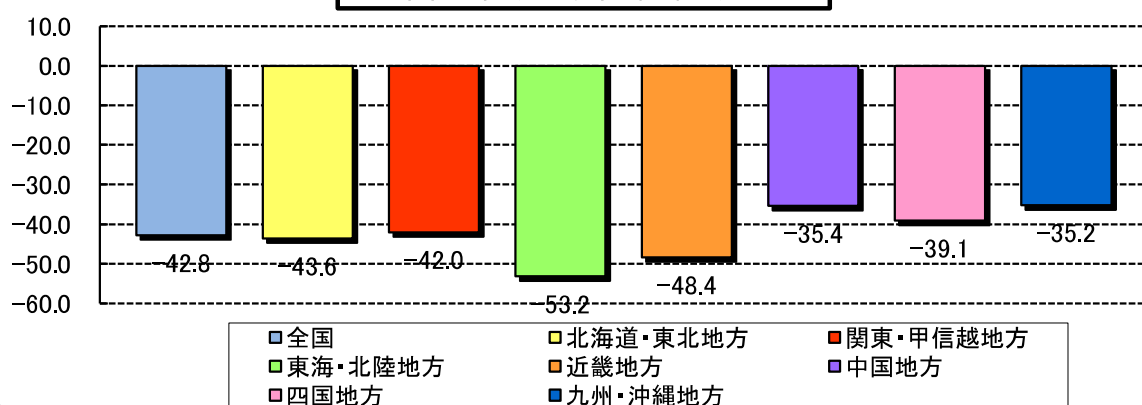
全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)】
(令和2年2月末現在・前年同月比)



全国及び各地域別の【売上高DI(全体)】
(令和2年2月末現在・前年同月比)



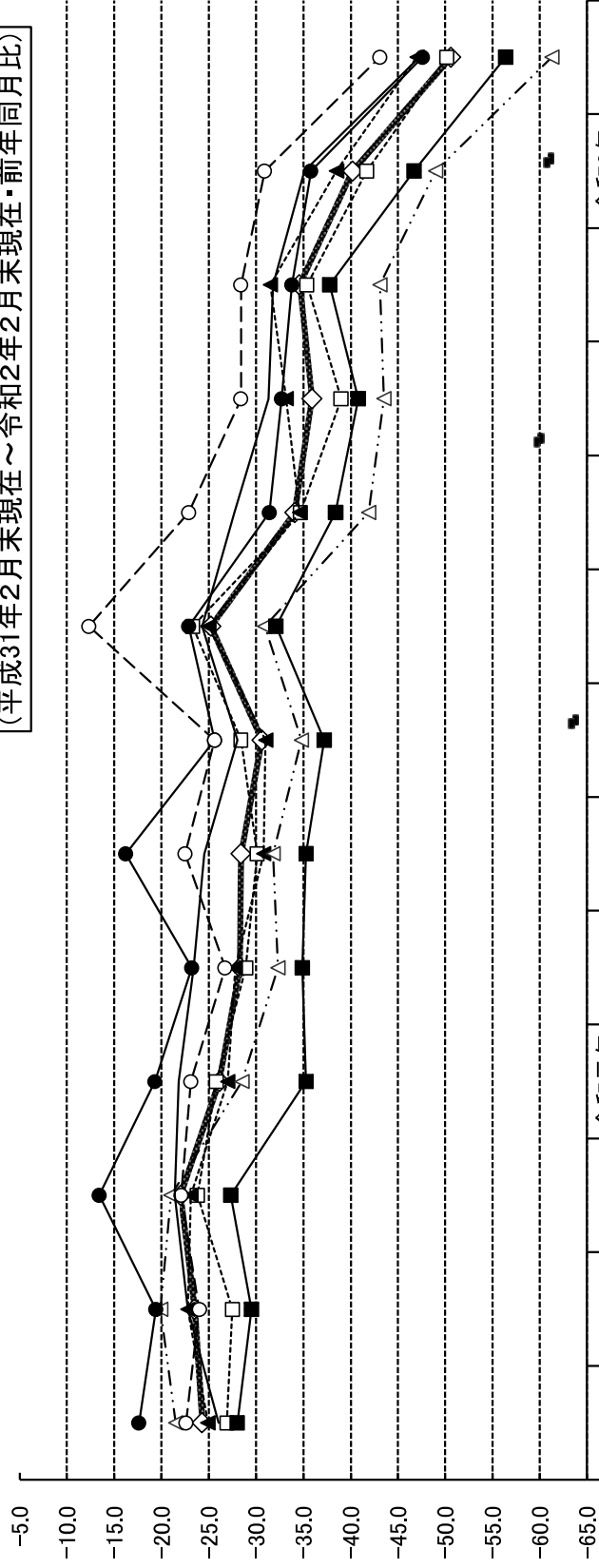
全国及び各地域別の【収益状況DI(全体)】
(令和2年2月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(平成31年2月末現在～令和2年2月末現在・前年同月比)



	2月末	3月末	4月末	令和元年 5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	令和2年 1月末	2月末
系列1	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6
系列2	-26.9	-27.5	-23.8	-25.8	-28.9	-30.1	-28.4	-23.3	-34.7	-39.0	-35.4	-41.7	-50.2
系列3	-24.9	-22.8	-23.1	-27.0	-27.8	-30.8	-31.0	-25.0	-34.6	-33.2	-31.5	-38.5	-47.0
系列4	-21.5	-19.9	-21.0	-28.5	-32.3	-31.8	-34.8	-30.9	-41.9	-43.5	-43.1	-49.0	-61.3
系列5	-28.0	-29.5	-27.3	-35.3	-34.9	-35.3	-37.2	-32.1	-38.4	-40.8	-37.8	-46.7	-56.4
系列6	-17.6	-19.4	-13.4	-19.3	-23.2	-16.2	-25.6	-22.9	-31.4	-32.7	-33.8	-35.8	-47.6
系列7	-22.6	-24.0	-22.1	-23.1	-26.7	-22.5	-25.6	-12.3	-22.9	-28.4	-28.4	-30.9	-43.1
系列8	-26.0	-22.8	-21.4	-21.8	-23.4	-24.5	-28.0	-24.3	-27.7	-31.3	-31.8	-35.1	-47.3

〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
〔中国地方(系列6)〕 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
〔四国地方(系列7)〕 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. **＜北海道 めん類＞**
1月中旬から新型コロナウイルスの影響により中国からの観光客が激減したため、前年・前月を参考に売上の予想を立てて雪まつり等に向けて準備していた食材が相当数廃棄となってしまった。
2. **＜秋田県 菓子＞**
県内は1月末頃から観光客が減り、2月末には更に減少した。3月中に新型コロナウイルス問題が解決しなければ、経営が厳しくなりそうで、パートタイム、従業員を休業させることも検討している。
3. **＜福島県 乾麺＞**
新型コロナウイルスの影響で休校したことにより、乾麺（うどん、そば）の出荷が良い。
4. **＜東京都 製粉業＞**
新型コロナウイルスの影響により外食向けの出荷量が低調となっている。一方、小・中・高校の臨時休校により即席麺や菓子パンの需要が高まり、出荷量を伸ばしている組合員もいる。
5. **＜富山県 パン・菓子製造業＞**
新型コロナウイルスの影響でお客様の来店数が少ない中、大家から営業時間短縮の通知があり、人員配置を組み直し、派遣社員の休みをお願いしたところ、60%の違約金を請求された。
6. **＜広島県 食料品＞**
先月下旬から受注が増加し、今月は好況であった。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、外出を控え、家で過ごすことが増えたことにより菓子需要が増加したのではないかと推測している。

繊維・同製品製造業

7. **＜秋田県 ニット＞**
新型コロナウイルス感染拡大による影響は、中国生産予定商材の国内生産への振り替えの打診があるが、生産期間が短く単価が合わないため、要望に応えにくい。
8. **＜栃木県 縫製業＞**
新型コロナの影響により、海外生産を一部国内へシフトする動きがあり受注は増加している。原材料の多くを中国からの輸入に頼っているため、これまで通り輸入できるか心配である。
9. **＜岐阜県 燃糸＞**
新型コロナウイルス感染防止のため、役員会等各種会議を中止したため、各社の燃糸加工量は把握できていない。外国人実習生が入国できない状況で、影響が出ている。
10. **＜京都府 織物業＞**
消費増税後の和装市況の落ち込みに加え、新型コロナウイルスの影響によるきもの関連イベントの中止など、産地の自助努力では解決できない状況で、今後、産地への影響が出てくることが懸念される。
11. **＜島根県 アパレル等製造＞**
新型コロナウイルスの終息が長引くようだと資材が入ってこないような状態になるので困る企業もある。2月、3月は学生服、作業服関係は忙しい。
12. **＜山口県 外衣・シャツ製造業＞**
年度末に向けて受注が増加していることに加えて、新型コロナウイルスの関係で海外の生産を国内生産に切り替えを検討する引き合いも多い。3月、4月はフル生産の状態である。

木材・木製品製造業

13. **＜秋田県 一般製材＞**
この時期は需要が減るが、今年に関しては季節的要因で片づけられないほどここ2～3年で最大の落ち込みである。新型コロナウイルスの影響で中国に依存する住宅部材の不足で住宅建築が遅れている。
14. **＜東京都 木材製造業＞**
業況に大きな変化ないが、一部の事業者で売上高減少が見られ、依然として厳しい状況である。新型コロナウイルスの感染拡大により工事の遅延等の影響が予想され、不安視する声が高まっている。
15. **＜静岡県 宗教用具製造業＞**
前年比マイナス3%とほとんど変化は無かったが、新型コロナウイルスによる肺炎拡大が追い打ちをかけるように、一部の業者は中国からの商品がストップしている状況で影響が出始めている。
16. **＜石川県 製材業、木製品製造業＞**
2月は例年であれば冬期閑散期だが、結果的には需要期となんら変わらず、通常以上の需要となり、4月から始まる「働き方改革」に沿った残業配分が思うように計れず困惑している。

17. **< 和歌山県 建具製造 >**
世界的な感染症により、中国からの輸入に頼っている建築資材並びに金物等の物流の停滞により建設業界に工期遅延のシワ寄せを生じさせている。
18. **< 熊本県 一般製材業 >**
販売先の建設業者から支払猶予の依頼がある。輸入建材がストップし、工期に影響しているようだ。

紙・紙加工品製造業

19. **< 静岡県 パルプ・紙・紙加工品製造業 >**
コロナウィルスの影響で小売店からトイレットペーパー、ティッシュが欠品するほど売れているが、実際は在庫は十分あり一時的に需要が上がった状態になっている。
20. **< 岐阜県 紙加工品 >**
もともと景気が悪い中、コロナウィルスの影響で注文数の減少により、仕事の確保が難しくなってきた。仕事が減った際の社員への保障が問題になってくる。国・県レベルの早急な対応をお願いしたい。
21. **< 三重県 古紙 >**
家庭紙がSNSのデマ情報から配送能力不足で店舗在庫切れになり、結果、特需で一時的な在庫一掃になりそうである。
22. **< 愛媛県 機械すき和紙 >**
誤ったSNSによりトイレットペーパー等が店頭から消えている。マスクと違って、国内シェアが98%近くあり、原材料も国内で調達であり、在庫は十分にあり、供給不安はないと冷静な対応PRに努めている。
23. **< 愛媛県 紙製品 >**
新型コロナの影響で、マスクが不足するのはわかるが、デマによりトイレットペーパー、ティッシュ、生理用品、紙オムツも不足し、紙製品の生産は多忙を極めている。目先は忙しいが必ず反動減がくる。
24. **< 高知県 機械すき和紙製造業 >**
2月の県内家庭紙の荷動きは、例年よりやや低調であったが、2月末より“デマ騒動”を受け現在パニック状態にある。原料であるパルプは、潤沢にあり、製品供給に全く問題ないが、反動が心配である。

印刷

25. **< 埼玉県 印刷業 >**
新型コロナウイルスの影響で様々な会議や大会が延期や中止になり、事務的な作業にも手間取り、大変悪い影響が出ている。
26. **< 静岡県 印刷・同関連業 >**
印刷物を外注せずに内製化している企業が増えたことにより外注案件が減少している。東・中・西部どの地区も業界の景況は最悪。
27. **< 三重県 印刷 >**
例年通り年度末を迎え活気が出てきた。官公庁等の入札は、相変わらず厳しい競争が続いている。また、3月末までに納品の案件が非常に多く、新年度に向けての努力が必要。
28. **< 滋賀県 印刷・同関連業印刷 >**
2月中は新型コロナウイルスの直接的な影響は出ていないが今後予定されているイベントや学校行事等の自粛で3月～4月は少しずつ影響が予想される。
29. **< 熊本県 印刷業 >**
新型コロナウイルスの影響で3月から学校が休みなので、各組合員の女性社員が出勤できるかが厳しい状況になっている。
30. **< 宮崎県 印刷・同関連業印刷 >**
今月は、稼働日が少なく、その上コロナウィルスの影響もあり、納期に間に合わない状況も考えられる。社員の出勤等についても先が読めない状態である。

化学・ゴム

31. **< 神奈川県 石油製品 >**
新型コロナウイルスが原因で中国国内の工場が停止し、サプライチェーンが寸断され、輸入品が多い組合員に徐々に影響が出てきた。
32. **< 長野県 プラスチック製品製造業 >**
成形品については昨年と比較すると売上は若干増加したが、今回金型販売が減少し、全体の売上は前年より減少した。コロナウィルスの関係で学校が休校となり、人員が不足となる関係先も見受けられる。
33. **< 奈良県 プラスチック >**
コロナウィルスの影響がどの位になるか、判断がつかない。年度末のイベント中止、延期でスケジュールの変更が余儀なくされている。
34. **< 島根県 プラスチック製品製造 >**
顧客の中国離れが進んでいる印象があり、国内回帰の話が散見されてきている。ただし、価格の相場が値崩れした状況での回帰もあり、国内企業は簡単には手を出せないと思われる。

35. < 岡 山 県 ゴム >
昨年同月と比較すれば同様の生産高となっている。しかしながら、今年は年初から新型コロナウイルス感染による景気への影響が国内外で既に出始めており、どの程度になるのか懸念している。
36. < 広 島 県 工業用ゴム製品 >
世界的に流行している新型コロナウイルスによる影響は、インバウンド、サプライチェーン等広範囲に深刻な景気後退をもたらしている。未だ終息の時期が見通せず、今後多くの倒産が発生する可能性が高い。

窯業・土石製品製造業

37. < 山 梨 県 骨材・石工品等製造業 >
今後は、新型コロナウイルスの感染拡大により工事の中止による工期延長や工事発注の遅れ、従業員の出社要員低下による生産量の低下が考えられる。
38. < 静 岡 県 セメント・同製品製造業 >
来年度は出荷減が見込まれ、さらに原材料の値上げ要請も厳しくなっている。適正価格販売しか生きる道はない。
39. < 愛 知 県 陶器 >
昨年10月の消費増税以降、徐々に消費需要は下降を辿り、本年に入ってから新型肺炎の影響によりインバウンド需要、中国をはじめとする海外需要の停滞傾向が見え始めてきた。
40. < 石 川 県 陶磁器・同関連製品製造業 >
2月に入ってから新型コロナウイルスによる外国人の観光客の減少で観光に関しての売り上げは減少し始め、2月半ば過ぎから日本人の観光客数も減少傾向でかなりの売り上げダウンとなる。
41. < 兵 庫 県 窯業・土石製品製造業 >
新型コロナウイルスの感染拡大により中国からの輸入が止まり、トイレ・バス・キッチン等水回りの住宅機器や一部の建材が入手できず、新築住宅やリフォーム現場の工期延長や、着工遅れが発生している。
42. < 香 川 県 石材加工 >
中国からの納品が停止している影響で国内加工にシフトし、限定的な特需が発生している。ただし、原材料が入荷しないのでプラスマイナス両面の影響が出ている。

鉄鋼・金属製造業

43. < 福 島 県 鉄工工業 >
新型コロナウイルスの影響はまだ見られないが、数か月先（特に夏、オリンピック以降）に延期やキャンセルが出始めるのではないかとの声も聞こえる。
44. < 栃 木 県 金属製品製造業 >
新型コロナウイルスの影響により、家電関係の部品が中国から入荷できていないため、会社の稼働日数が定まらない懸念がある。
45. < 埼 玉 県 鋳鉄铸件製造業 >
新型コロナウイルスの影響に関する調査を実施し、回答企業の33%が事業への影響がある。「受注減」「取引工場の生産停止」「今後の受注が不透明」「今後の材料調達が不透明」等の回答であった。
46. < 山 梨 県 金属製品製造業 >
新型コロナウイルスの影響から、中国からの部品の調達が難しい状況。3月には在庫がなくなる見込みであり、国内での部品調達を検討している。
47. < 京 都 府 金属加工製品製造業 >
特に自動車産業や電機産業は今回の新型コロナウイルスの影響が大きい。中国の生産が止まるだけでなく物流がストップしたため、中国からの部品や製品が入らず困窮している企業もある。
48. < 徳 島 県 ステンレス >
新型コロナウイルスの影響で、営業活動等に影響が出始めている。また、感染予防対策から国内消費が広く抑制されるなど、景気下押し効果が強まっており、来期以降の設備投資への影響が懸念される。

一般機器製造業

49. < 山 形 県 その他の電気機械器具製造業 >
コロナウイルスによる業界の影響はなく、現在休暇申請もない状況。組合員企業では厚生労働省助成金制度を利用し特別休暇を設ける予定のところがある。
50. < 群 馬 県 その他の汎用機械・同部分製造業 >
新型コロナウイルスによる学校閉鎖により、従業員が何人、いつまで休むかが問題となっている。
51. < 愛 知 県 一般機器 >
新型肺炎の関係で客先部材供給に問題が発生しており、特に中国工場生産で問題はありますが、徐々に回復傾向にある。供給不足を補うために操業度はアップ。
52. < 石 川 県 機械金属、機械器具の製造又は加工 >
新型コロナウイルスの具体的な対応方法は情報管理が重要と考え、正しい情報を集め対応していくことが重要である。テレワークは実施困難だが、会議や集会のあり方をこの機会に見直していきたいと考える。

53. < 島 根 県 一般機械器具製造業 >

インドビザの無効化による影響を受けている。韓国の入国制限による影響はない。

54. < 岡 山 県 工作機械 >

売上・受注ともに、ほぼ横ばいか多少減少傾向にある。人員不足の問題は依然として解消されておらず、残業時間延長にて対応せざるを得ない状況

電気機器製造業

55. < 長 野 県 電子機械器具製造業 >

新型コロナウイルスの影響が徐々に出ている。休業を開始した会社も出始め、今後の雇用調整助成金の拡大に期待している。

56. < 三 重 県 電気機械器具製造業 >

今期は期末発注が非常に悪く、例年の10~20%ダウンである。景気が悪い方向に向かっている。

57. < 山 梨 県 電気機械器具製造業 >

年度末の多忙期である。製品の制作納期は間に合わせているが、現場への搬入・据え付けに若干の遅れが出ている。

58. < 京 都 府 電機機械器具製造業 >

新型コロナウイルス感染症の影響で、海外からの部材調達が困難に至り生産に支障をきたしている事業所がある。在庫部材で対応しているものの長期化すれば経営に大きな支障をきたすことが懸念される。

59. < 兵 庫 県 電気機器製造業 >

前年同月比10.3%減となり、消費税増税後5ヶ月連続減少している。中国よりの部品調達遅れ等により、メーカーの生産減少があり、今後予断を許さない状況である。

60. < 広 島 県 電気機械器具 >

今月の売上は、受注量が減少しており、前月比変化なし、前年同月比7.0%減少となった。前年同月比減少の主要因は、輸出の減少と装置向け（特定機種）の低迷である。

輸送用機器製造業

61. < 群 馬 県 自動車・同付属品製造業 >

新型コロナウイルスの影響で、中国・ベトナム等への輸出が減少している。今後への影響は不確定だが、不安が募る。

62. < 愛 知 県 輸送機器 >

設備関連の仕事は激減してきている。大幅な受注減により悪化の一途、そこへ新型肺炎により展示会、研究会等一切が中止となっている。先々不安が続く限り受注の見通しは悪くなる見込み。

63. < 三 重 県 鈴鹿 >

新型コロナウイルスの影響に関して、当組合員企業のうち設備製造関連や試作製品関連では今のところまだ特に影響は出ていないが、今後の見通しについては全く不明である。

64. < 島 根 県 自動車部品・付属品製造業 >

先行きの中国向けの減と2019年後半に進むにつれての全体的な生産減が目立っている。中国向けの受注も内示が減ってきているので、新型コロナウイルスが影響している可能性が高い。

65. < 山 口 県 鉄道車両・同部品製造業 >

鉄道車両は輸出案件が生産の終盤を迎えてはいるが、輸出以外の案件も多くあり、変わらずに作業量が多い状況が続いている。半導体も高い作業量水準が継続している。

66. < 高 知 県 船舶製造・修理業 >

引き続き受注残の消化にて高い操業度で推移している。今後は、新型コロナウイルスの影響にて、購入資材等の納入遅れが懸念される。

その他の製造業

67. < 青 森 県 漆器製造業 >

木地を国産品に転換してコストが上昇した結果、販売価格に転嫁した組合員もいる。しかしながら、材料が大事だと考えている。

68. < 福 島 県 漆器 >

消費税増税に加え、新型コロナウイルスにより人の動きが悪くなった。ネット通販が比較的順調なのが救いである。

69. < 神 奈 川 県 工業中心の複合業種 >

受注の減少や中国、韓国との契約が白紙になる等、中小零細には厳しい状況になってきている。中国で製造できない部品等の注文も増えているが、低単価過ぎて、検討できない企業もある。

70. < 山 梨 県 貴金属・宝飾品製造業 >

新型コロナウイルスの影響により中国との取り引きが停止している。消費税増税の影響と併せて売上高は前年同月比で20%減少している。

71. < 石 川 県 漆器製造業 >

今年、降雪がなかったが、昨年より観光の入込が少なかった。また、新型肺炎の影響が非常に大きくなっている。

72. < 福 井 県 眼鏡工業 >

今のところ受注高は一定量を確保しているものの、新型コロナウイルス問題の影響から中国から部品調達が困難になりつつあり、本年6月～8月頃に受注高の減少が危惧される場所である。

《非製造業》

卸売業

73. < 岩 手 県 野菜果実卸売業 >

野菜は取扱数量が伸びたため単価が落ち込み金額が伸び悩み、果実は前年並みに落ち着いた。

74. < 茨 城 県 食品卸売業 >

野菜・果実合計で前年同月比96%の取扱高となった。前月に続き、暖冬の影響でレタスやキャベツ等の出荷が順調となり安値が続いた。

75. < 千 葉 県 卸売 >

昨年の水害の影響が落ち着いてきたが、新型コロナウイルスの影響で景気の落ち込みが激しくなっている。

76. < 鳥 取 県 水産、青果卸売業 >

紅ズワイ漁は昨年にくらべ水揚げ量も多く比較的安定した相場で推移したが製品販売については月後半からの新型コロナウイルスの影響が懸念される。

77. < 福 岡 県 生鮮魚介卸売業 >

新型コロナウイルス感染騒ぎで、飲食店・ホテル・学校等の納入が異常に少なくなり、業界の景気に大きく影響している。

78. < 大 分 県 食糧集荷 >

新型コロナウイルスの影響で外食が減少、業務用の納入が落ち込んでいる。クルーズ船の減少によりランチ数百人単位での食事がキャンセルとなり、外食（業務用）への供給が大幅に減っている。

小売業

79. < 宮 城 県 鮮魚 >

魚の入荷が極端に少なく売上が伸びせない。また、新型コロナウイルスの影響で料理店や納品先のキャンセルが続く、最悪の状況になりつつある。

80. < 新 潟 県 スポーツ用品小売業 >

新型コロナの影響で中国工場が稼働しなくなり、スポーツ用品にも今後の仕入商品の遅れが予想される。また日本でも感染が記録され、スポーツ界にも大打撃となるであろう。

81. < 大 阪 府 二輪自動車小売業 >

消費増税の影響に加え、コロナウイルスの影響で需要期である3月の影響見通しがたたない。1年における最大の展示会である大阪モーターサイクルショーが中止となったことも不安要素である。

82. < 佐 賀 県 食料品（青果） >

2月に入ってからコロナウイルス感染への不安が拡散して、来客数が減少し、イベントも次々に中止され、飲食店への納入も極端に減った。この状況なので、業界は委縮し、活気がなくなっている。

83. < 長 崎 県 青果物 販売 >

2月も相変わらず安値が続く、生産者のため息が聞こえる。コロナ肺炎の報が届き、消費者の購買意欲が削がれ最悪の状態となり、見通しが全く立たない。

84. < 鹿 児 島 県 鮮魚小売業 >

今月の実績は昨年より若干落ちているものの、節分の恵方巻は食品ロス削減の観点から予約制が多かったため、昨年より良い実績となった。

商店街

85. < 宮 城 県 商店街 >

連日の新型コロナウイルス報道の影響か、商店街の人出が確実に減少し、物販・飲食ともに売上が伸びない。飲食店からは人手不足も重なり、閉店の声が聞こえている。

86. < 福 島 県 商店街 >

2月はどの業種も良くないのであろうが、2月末は新型コロナウイルスの影響もあり飲食業は更に悪化であった。商店の売上、集客ともに悪い。

87. < 岐 阜 県 旅行業 >

コロナウイルスによる旅行取り消しが急増し、資金繰り悪化が懸念される。2月28日現在の取り消し件数は、国内旅行、636件、18,528名、海外旅行、161件、1,613名、インバウンド71件、1,051名となった。

88. < 滋 賀 県 商店街 >

コロナウイルスから、卒園・卒業の紅白饅頭もキャンセルや数量の変更の連絡、また毎週週末にイベント等に出張販売もすべて中止。パーティや結婚式のキャンセルなどで生花の注文が減っているようである。

89. < 広 島 県 商店街 >

暖冬による冬物衣料の販売不振が続いている。新型コロナウイルスの影響により、人手が減少し、売上も大幅に減少している。

90. < 香 川 県 商店街 >

現在、商店街を訪れるインバウンド客はピーク時の約2割程まで落ち込んでいる。日本人のお客様も高齢者を中心に減少している。

サービス業

91. < 北 海 道 旅館 >

新型コロナウイルスによる風評被害に始まり、北海道内の感染拡大、緊急事態宣言と続く中、国内全域からのキャンセルが多くあった。

92. < 新 潟 県 広告業 >

例年のことで、2月は業界的にも受注が増えて仕事は忙しい状態だ。引き続き、3月も期待したいものだ。

93. < 島 根 県 ホテル >

2月前半は新型コロナの影響は殆どなかったが、25日以降の政府の見解が出てからはキャンセルが多く、3月・4月のキャンセルが止まらない状態が続く、新規もない状態にある。

94. < 山 口 県 スポーツ・健康教授業 >

コロナウイルスでの休校でスイミングスクールは被害甚大。スポーツジムは危険スポットになってしまっている。風評被害が心配。

95. < 大 分 県 クリーニング >

2月の売上は対前年比△8～10%程度だった。ホームクリーニングは△5%程度だが、リネン（ホテル関係）クリーニングは△10～15%で新型コロナウイルスの影響が出ている。

96. < 沖 縄 県 ホテル旅館業 >

例年1、2月はスポーツキャンプで賑わいをみせるが、キャンプ地のファン交流の自粛他、状況は悪化している。組合では米国同時多発テロ時に行った「県民一人一泊運動」のようなキャンペーンを考えている。

建設業

97. < 宮 城 県 建設 >

自然災害が頻発・激甚化し、令和2年度まで別枠で減災・防災・国土強靱化の3ヵ年緊急対策が講じられている。令和3年度以降の未来への投資となる社会インフラの安定性への取り組みが必要不可欠である。

98. < 埼 玉 県 塗装工事業 >

作業の進捗状況及び受注の引き合いも順調である。社会問題になっている新型コロナウイルス感染の影響よりこれからどうなっていくか、非常に危惧しながら情勢を見ていきたい。

99. < 千 葉 県 内装工事 >

年度末のため、内装工事受注においては、仕上げ工事が多忙であり、技術者不足のままである。

100. < 静 岡 県 電気工事業 >

新型コロナウイルスの影響で、休暇を取る職員が増加し現場に出す人のシフトがタイトになってきている。

101. < 京 都 府 職別工事業 >

新型コロナウイルスの影響はすぐにはみられなかったが、ハウスメーカー等では既に出始めてきており、次月には中国製建築資材等による影響は末端まで出始めるとされる。

102. < 大 阪 府 総合工事業 >

地震、台風の影響は大分少なくなってきたが、ここに来て業界の高齢化が顕在化している。少子高齢化により益々若年者の業界加入者が少なくなっている。

運輸業

103. < 岩 手 県 一般乗用旅客自動車運送業 >

全国的なコロナウイルス感染症拡大に伴う観光やイベント等への影響は深刻で、タクシー利用者は軒並み大幅な落ち込みを見せている。

104. < 福 島 県 トラック団地 >

新型コロナウイルスの影響により物流が停滞するケースも出てきている。

105. < 茨 城 県 県北地区一般貨物 >

主要顧客の動向について、出荷物量はやや低調となるが、売上高は輸送運賃改定の影響もあり横這い。燃料価格は新型コロナウイルスの影響が若干安くなったが、収益は依然厳しい。

106. < 栃 木 県 貨物軽自動車運送業 >

新型コロナウイルスで自動車、部材、印刷物等の仕事がストップしている。学校が休校となった影響で、食料品、飲料水等の配送がスポット的に増加した。引越しは例年通りの受注数・予約数であった。

107. < 東 京 都 貨物自動車運送業 >

高速道路通行料の請求額は、前年同月比で1.5%の減少となった。請求額が前年度比減少した組合員は半数以上であり、昨年9月から減少が続いている。

108. < 高 知 県 一般乗用旅客自動車運送業 >

実働1日1車当りの前年同月比営業収入101.5%、輸送回数100.5%。当月の実働率は61.6%。新型コロナウイルスの感染でタクシー利用者が減少。経営上悲鳴をあげている事業者もある。

その他の非製造業

109. < 宮 城 県 不動産 >

単身用の賃貸仲介は、2月下旬にかけ新入学の学生を中心に問い合わせが多くなった。反面、新型コロナウイルスの影響か、法人の異動による問い合わせで転勤時期を繰り下げるような動きが多くなった。

110. < 秋 田 県 砂利 >

降雪期は骨材の荷動きが鈍いが、今は雪も少なく、また民間工事があったことから例年より生コン用骨材の出荷は増加した。

111. < 千 葉 県 輸出入 >

2月の売上は前月比・前年同月比ともに減少した。特に新型コロナウイルス関係から中国人、韓国人旅行者が大幅減少したためである。

112. < 兵 庫 県 社会福祉・介護事業 >

業況については、特に変動はありません。コロナの影響により、施設での面会謝絶等を含め福祉業界にとっても状況を見極めた行動が必要になると考える。

113. < 岡 山 県 信用組合 >

2月17日に当組合独自に「新型コロナウイルス対策特別融資」の取扱いを開始し、相談窓口も設置した。また、岡山市のセーフティー融資の取扱いも3月2日から始まっており、相談受付体制をとっている。

114. < 鹿 児 島 県 石油販売業 >

前月から続いている新型コロナウイルスの影響で原油安が鮮明となっている。今後も不安定な動きが見込まれる。一方、小売市場も上げ下げが交錯した動きとなった。